

「和歌山を、宇宙からの防災・教育の拠点に」

シンポジウム

日時：2月22日（土） 13:30～15:30（13:00開場）

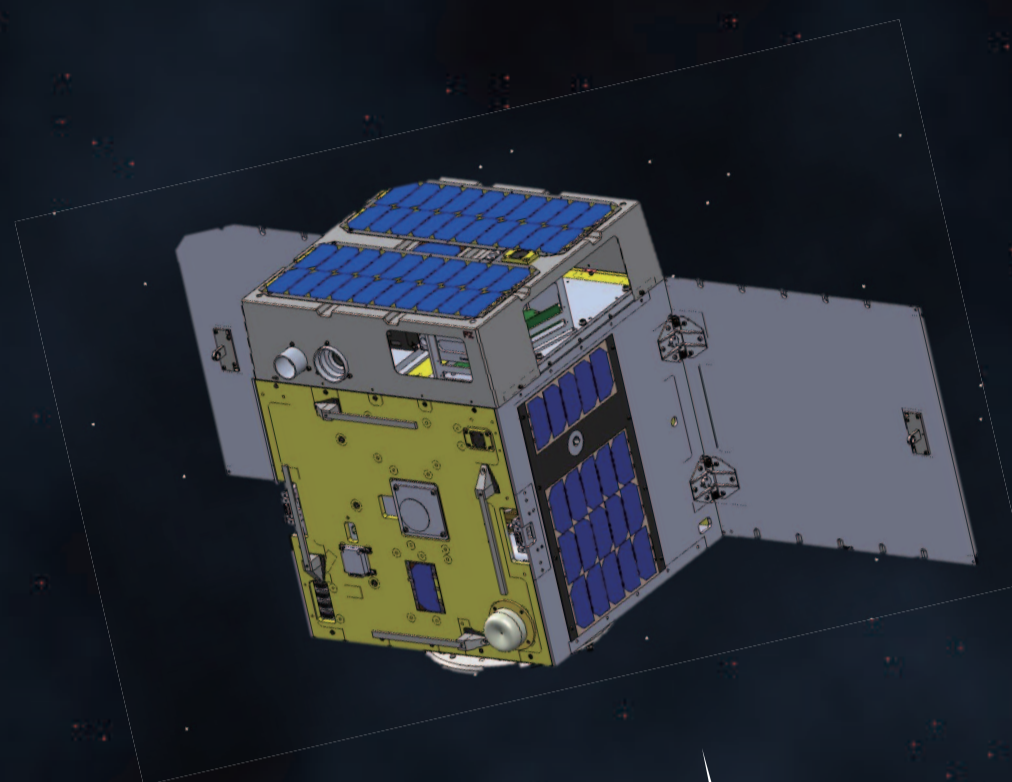
場所：和歌山大学 基礎教育棟 G101 教室（定員400名）

事前申込み・不要 参加費・無料

主催：和歌山大学（和歌山大学宇宙教育・防災構想実行委員会）

後援（予定）：和歌山県、国土交通省、経済産業省、
東アジア・アセアン経済研究センター

協力：日本宇宙少年団和歌山分団（和歌山リビング新聞社）



International Satellite
Constellation Networks



Nano-Satellite

Store & Forward

登壇者



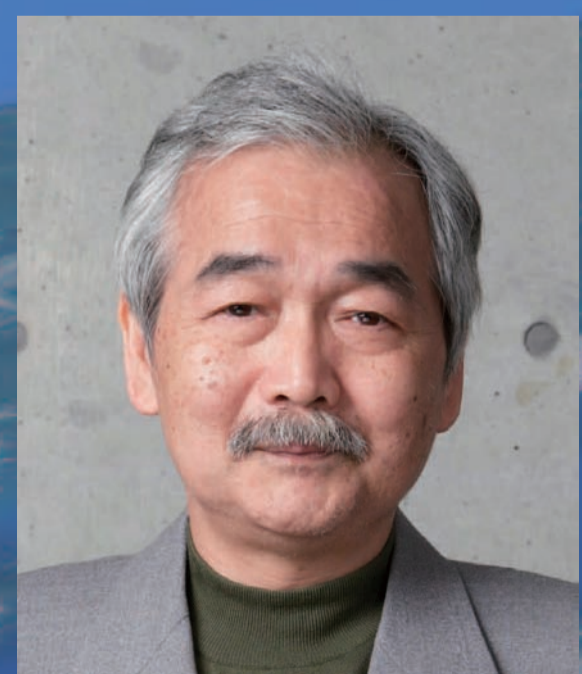
衆議院議員
自由民主党和歌山県連会長
二階俊博



東アジア・アセアン経済研究センター
(ERIA) 事務総長
西村英俊



千葉工業大学
惑星探査研究センター 所長
松井孝典



酒田市美術館 館長
ノースアジア大学客員教授
作家
石川好（モデレータ）



和歌山大学 学長
山本健慈

Ground
Sensors

土砂災害や南海トラフ地震が予測される紀伊半島は、まだまだ地上防災インフラの整備から取り残されています。そこで「防災」に、「宇宙からの視点」や「宇宙情報インフラ」の観点を取り入れることにより、地域の安心・安全機能を高める取り組みを実施します。また「国土強靱化海を渡る」国家政策の一環として、和歌山大学と新設が予定されている国の土砂災害研究機関が協力し、「宇宙からの防災」技術の実証を行います。また従来から和歌山大学が進めていた宇宙教育・防災教育を、「東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）」や「OECD」の活動の一環としてとりあげ、防災インフラを必要とする新興国に貢献すると同時に、今後の協力関係に寄与する人脈を構築します。